



# カムカム通信

2004.06  
VOL. 15

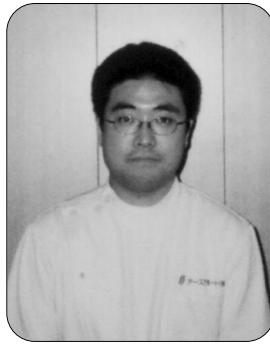
通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで

0120-099-505

## かむかむ倶楽部

トータルな介護サービスを提供している「アースサポート株式会社」(本社・東京都)では、在宅歯科検診アンケートを定期的に配布し、訪問歯科の存在を利用者様に広く紹介しています。

### 定期的な声かけで 在宅検診をサポート



アースサポート株式会社  
横浜在宅サービスセンター  
訪問入浴主任 作田孝義さん

**利用者**本位のサービスを追究し、住み慣れた地域で、いきいきと安心して生活できる環境作りを目指して、私たちはさまざまな介護サポートサービスに取り組んでいます。その一つが訪問入浴サービスですが、訪問の際に日本訪問歯科協会との連携のもと、『お口の健康ニュース』を配布しています。

訪問入浴を利用されている方は要介護度の高い方も多く、これまではなかなか「お口のこと」にまでは意識が回らなかったというのが実情。しかし、定期的に『お口の健康ニュース』を配布することで、お口に関する意識が高まるきっかけになっているようです。

在宅検診はまだあまりなじみがないのか、お声をかけさせていただいても、初めは「どうしようかな?」と迷われる方も多いようです。それでも、定期的に声をかけているうちに、「今度やってみよう」とか「まだやっているのかな」と、反応が返ってくるようになります。実際に検診を受けられる方も増えてきました。検診を受けられると、ご本人はもちろん、介護者の方に喜んでいただくことも多いんですよ。

希望されて始められる方もいらっしゃると思いますが、往診に来てくださる歯科の先生たちの評判はともよいです。ちょっとした相談にも親切に乗ってくださるし、話しやすいという介護者の方からの声をよく耳にします。

また、利用者様も歯医者さんの往診を心待ちにしています。要介護度が高くて通所系のサービスが利用できない方の場合、ずっと自宅にいたことが多かったため、どうしても生活が単調になりがち。だから、訪問入浴にも言えることですが、外部の人とのコミュニケーションは大きな楽しみなのです。

訪問歯科診療も、先生が定期的に来てくれるということ自体が、利用者様にとっては喜びであり、歯の治療をしてもらうことだけでなく、コミュニケーションというプラスαのメリットもとても大きいと思います。

弊社のモットーは、高質・迅速・安心です。利用者様から在宅検診のご希望があると、私たちはすぐに日本訪問歯科協会にFAXを送るのですが、協会の対応もいつも迅速なので、こちらとしても感謝しています。

### 今日から始める、簡単お口のケア！ ワンポイント アトバイス

#### 口腔リハビリテーション 【歯ブラシでリハビリ】

口腔ケアの基本は、歯と歯肉の間のブラッシング、つまり、歯みがきですが、歯みがきはただ口の中をきれいにするだけではありません。歯肉や舌やほおなどに歯ブラシで軽く刺激を与えることが、口の中のリハビリにもなるのです。

口は食べ物のかたさや形、性状、味や温度などを感じるということが、とても敏感な感覚器です。ブラッシングの刺激によって、血行もよくなり、感覚機能の低下も防げます。

#### 歯ブラシを使った リハビリ方法

歯ブラシの毛の部分で、舌の表面や縁をトントンと軽く叩いて、感覚を刺激します。

歯ブラシで舌を下に押さえつけると、舌がその力に反発しようとするので、筋力アップにつながります。

電動歯ブラシのスイッチを入れてブルブルさせながら、ほおの内側や舌、歯肉に当ててマッサージすると、血行がよくなります。ほおの内側は粘膜が傷つけないよう、歯ブラシの毛ではなく背のほうを当てます。